

銀座地区の都市公園と街路樹における樹木の多様性の視覚化 Visualization of the diversity of the trees in a city park and a street tree at Ginza area

新井 陸^{1*}, 森田 喬², 工藤 圭介¹, 中川 達慈¹
Riku Arai^{1*}, Takashi Morita², Keisuke Kudou¹, Tatsuji Nakagawa¹

¹ 法政大学大学院デザイン工学研究科, ² 法政大学デザイン工学部

¹Graduate School of Engineering and Design, Hosei University, ²Faculty of Engineering and Design, Hosei University

近年, 地球温暖化をはじめとする様々な環境問題の中で, 自然との共生を目指したまちづくりが大きな課題となっている。かつての東京は多様な自然に恵まれ, 生態系を有する緑地が広がっていた。しかし, 都市化の進行に伴い, その緑地は都市公園や街路樹として整備され, 生態系を維持する能力が低下している。今後の都市緑地整備においては樹木の多様性に着目することが重要であり, その為には都市緑地の空間構造を捉えることが不可欠である。

これまでに中央区では緑の実態調査(2005年)が実施され緑被地図が作成されている。これは緑地形態を把握し, 緑の回廊などの緑地計画に役立てることは可能であるが, その植生などの内部構造は把握できない。故に今後は緑被地図を基に地区における植生の分布を把握することが望まれる。

本研究では, 周辺に浜離宮恩賜庭園など大規模な緑地が存在する東京都中央区の銀座地区を対象に, 都市緑地として都市公園と街路樹における樹木の分布を調査した。そして, 樹木の種類ごとの緑地形態を明らかにすることで内部構造を分析した。その結果, 都市緑地整備における樹木の多様性の分布特性を視覚化することができた。

キーワード: 銀座, 都市緑地, 空間構造, 樹木の多様性, 視覚化

Keywords: Ginza, urban green space, spatial structure, diversity of trees, visualization